

芳泉中発未来へ

「生きる力」を育む教育をめざして

No. 10
令和4年3月22日
芳泉中学校
学校だより編集部

厳粛で立派な卒業式を生徒、教職員、保護者で創ることができました

三月十一日(金)に、近年には珍しく暖かい気候の中、卒業生と二年生の生徒会代表二名、卒業生保護者の参列のみで第四十二回の卒業証書授与式が行われました。今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、規模を縮小し、来賓もなく、卒業生の歌声もない式ではありましたが、中学校三年間の成長を感じさせる厳粛で立派な式でした。

卒業証書は、代表の深田智樹さんが、正好校長から授与され、その他の生徒は、担任から一人ずつ手渡されました。涙を流しながら渡していた担任もいました。生徒も先生も様々な思いをもった感慨深い授与でした。



担任から堂々とした姿で証書を受け取りました

校長からは、卒業生に対し、本田宗一郎氏の「チャレンジして失敗するよりも、何もしないことを恐れる。」という言葉が引用された「はなむけの言葉」が送られました。「人生は一度きり。たとえ失敗しても、それは何かを失ったのではなく、『この方法ではうまくいかなかったことが分かった』ということ。失敗は新しいアイデアへと導く。失敗を恐れてチャレンジしなければ、何も得ることはできない。チャンスは、自ら行動を起こし、自分の手で勝ち取るもの。様々なことにチャレンジし、自分で自分の道を切り開いてほしい。」

また、新型コロナウイルス感染症により、当たり前と思っていた生活が奪われ、世界中で、感染拡大防止のために尽力し、挑戦している。皆さんにも、体育会の中止、修学旅行も日帰り代替旅行と我慢をお願いしてきた。何とか通常に近い形で学校行事ができないかと別の方法を考え、校長室へ提案に来てくれた人もいた。何とか最適解を見つめようとする真摯な態度に感銘を受けた。これも新型コロナウイルス終息に向けたチャレンジの一つ。



今後、AIの発達やロボット化が進み、これまでの常識が通用しない時代を迎える。そのような中で、人とのつながりを大切に、幅広い知識と教養を身に付け、様々な経験を通して最適解を探してほしい。自ら人生を切り開く力を身に付け、豊かな自己実現と平和な社会を築くことを期待する。」という内容でした。

在校生の皆さんも、いっぱい、いっぱいチャレンジしてほしいと思います。

在校生代表として「送る言葉」を読んだ生徒会会長の堀米結名さんからは、先輩の三年生に向けて、感謝の言葉が伝えられました。新入生として入学したときに優しく接してくれたこと、体育会に向けて楽しく練習ができるように場を盛り上げながら細かくダンスを教えてくださいましたこと、部活動で技術や礼儀、規律の大切さを教えてくれたこと、ボランティア活動での先輩たちの生き生きとした姿に多くを学んだことなど卒業生との思い出がいっぱい詰まった内容でした。

卒業生からは、前生徒会長の塚崎陽大さんが「旅立ちの言葉」として、三年間の楽しかった思い出、悔しかった思い出、先輩に抱いた憧れなど成長していった自分たちを振り返りました。そして、様々な場面でいつも身近にいたお父さん、お母さんへの感謝、先生への感謝、仲間や後輩への感謝が伝えら

れました。そして、「正解」は分からないが、自分たちが思い描く姿を模索し、進んでいこうと卒業生に呼び掛けました。

式後は、運動場で生徒同士、担任や部活動でお世話になった先生方とのお別れタイムを満喫していました。天気も味方してくれ、暖かでも心も温まる卒業証書授与式の日となりました。三十八名の卒業生の皆さん、おめでとうございます。今後の一層の活躍を期待しています。



KL組のモザイクアート 3年間分を展示しました

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、卒業生を送る会は中止になりましたが、三年生への感謝の気持ちを込めて、階段アートやメッセージなどを作成しました。

また、例年ではありますが、三年生の教室もきれいに飾り付けました。卒業生にもきっと気持ちがいいわかったと思います。

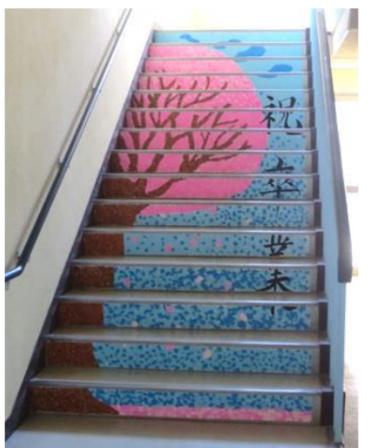
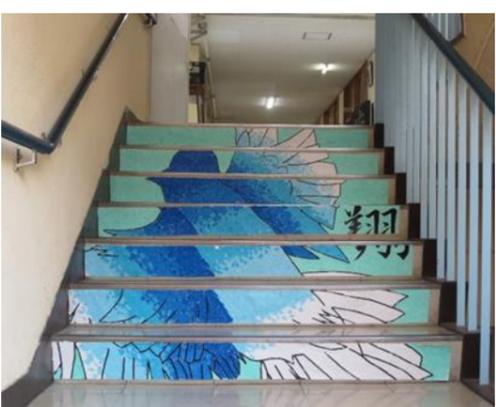
また、今年度は、PTAより、「卒業証書授与式」の立て看板を三つ購入していただき、三か所設置し、お別れタイム時の、看板前での記念撮影が「密」にならないように準備しました。購入していただき、ありがとうございました。

三年生に気持ちよく芳泉中を巣立って行ってもらうためにみんなで準備

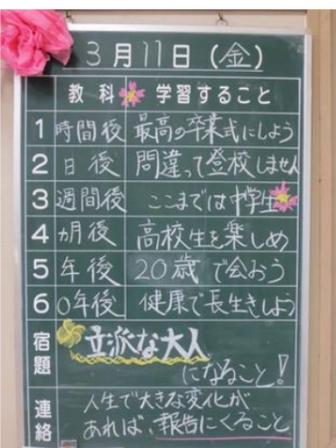
今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、卒業生を送る会は中止になりましたが、三年生への感謝の気持ちを込めて、階段アートやメッセージなどを作成しました。

また、例年ではありますが、三年生の教室もきれいに飾り付けました。卒業生にもきっと気持ちがいいわかったと思います。

また、今年度は、PTAより、「卒業証書授与式」の立て看板を三つ購入していただき、三か所設置し、お別れタイム時の、看板前での記念撮影が「密」にならないように準備しました。購入していただき、ありがとうございました。



42と読めるかな?



モニツク先生
ありがとうございます
Thank you!

ALITのモニツク先生が、三月十六日に芳泉中での最後の授業を行いました。この日は、朝の会の時、テレビ放送で生徒にお別れの挨拶をし、生徒会執行部の東千咲さんから花束とお礼の言葉が贈られました。四時間目に、二年B組で芳泉中最後の授業を行いました。二年生全学級とも最後の授業は、カナダにお住いのモニツク先生のお父様とリモートで繋がった状態で、互いに英語で質問をするなど、楽しい時間を過ごしました。生徒がやる気を起こすような授業づくりを常に考え、いつも、周りに気を配り、元気にみんなを盛り上げてくれたモニツク先生、二年間、芳泉中で授業をしてくださりありがとうございました。お元気で!



2年B組の最後の授業風景